

KENWOOD

ポータブルマイクロ CD システム

PMS-G3

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご注意：

本機にディスクを入れたまま移動しないでください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

本機の特長

MD 対応の光デジタルアウト

CDの光デジタル出力から、外部MD に光デジタル録音が可能です。

CDプレーヤーと、カセットデッキ2台を標準装備

CDプレーヤーと、カセットデッキ2台を搭載。
さまざまな音楽ソースを楽しむ一体型マイクロCDステレオです。

録音・再生用カセットデッキはオートリバースデッキを採用

録音・再生用カセットデッキはオートリバース機を採用、両面の連続録音や、長時間連続再生ができます。

選局しやすいデジタル選局チューナー

自動選局や、放送局を記憶しておけるプリセット機能を搭載した、FM/AMデジタル選局チューナーを採用しています。

便利なリモコン機能

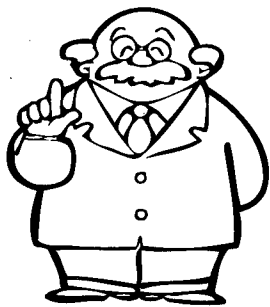
CDプレーヤーや、チューナー、カセットデッキまで操作できるリモコンを付属しています。

留守録や、目覚ましに使えるタイマー機能

時刻表示、目覚ましタイマー、スリープタイマー(お休みタイマー)、留守録タイマー、と多彩なタイマー機能

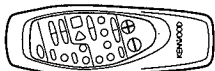
バラエティーに富んだ音質調整機能

重低音増強機能や、ROCK、POP、CLASSICが切り換えられるイコライザー機能に加え、音の広がりを持たせるサラウンド機能などが楽しめます。



付属品

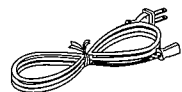
リモートコントロール
ユニット(1個)



リモコン用単4乾電池(2本)



電源コード(1本)



安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください) 4

準備編

音を出す前に

各部のなまえと働き 6
 前面、上面部 6
 表示部 7
 背面 7
 リモコンの使いかた 8
 外部機器の接続 9
 ヘッドホーンで聴くとき 9
 電源の準備 10
 時刻合わせ 11

操作編

「聴く」、「録る」の操作です

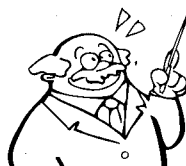
CDを聴く 12
 1曲目から順に聴く 12
 曲を飛び越す 13
 早送り・早戻しする 13
 一時停止する 13
 再生を止める 13
 曲順を並べ替えて聴く 14
 繰り返し聴く 15

テープを聴く 16
 早送り・巻戻しする 17
 再生を止める 17
 テープイコライザーを選ぶ 17
 再生するテープデッキを選ぶ 17
 テープ反転モードを選ぶ 17
 放送を聴く 18
 放送局を記憶させる 19
 録音をする 20
 録音を一時停止する 21
 録音を停止する 21
 CDのダビングをする 21
 CDのプログラム録音をする 21
 テープのダビングをする 21
 タイマーを使う 22
 便利な機能 24
 音質を調整する 24
 MDや外部に接続した機器を再生する 24
 一時的に音を消すには 24

知識編

知っているとかかと便利です

知っておきましょう 25
 メンテナンス 25
 参考 25
 ディスクの取り扱い方 26
 カセットテープについてのご注意 26
 故障かな?と思ったら 27
 保証とアフターサービス(必ずお読みください) 30
 △定格 31
 ケンウッド全国サービス網 32



安全上のご注意には、この製品を正しく安全にご使用いただくための注意事項がまとめられています。ご使用前に、必ずお読みください。

安全編

準備編

操作編

知識編

安全上のご注意

PMS-G3(J)

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社のポータブルオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります)

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

警告

交流100ボルト以外の電圧では使用しない



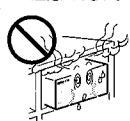
この機器は、交流100ボルト専用です。指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

放熱に注意



設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですのでふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭いところに押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

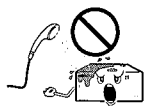


通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



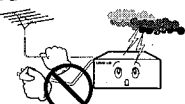
風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら



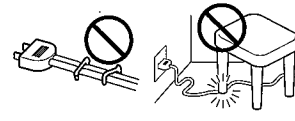
アンテナや電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。



電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようご注意ください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら



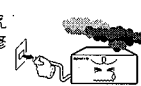
電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチをきり、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源プラグは清潔に



電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



機器の内部に水や異物を入れない



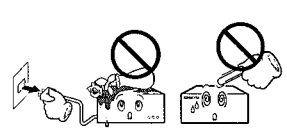
機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。こぼれて中にはいると、火災・感電の原因となります。






機器の通風孔、開口部から内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

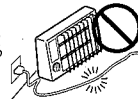

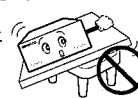



内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



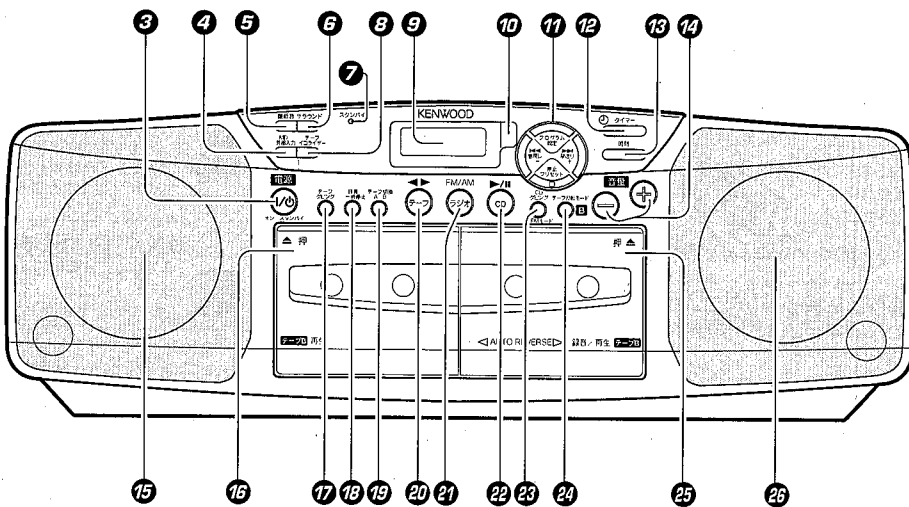
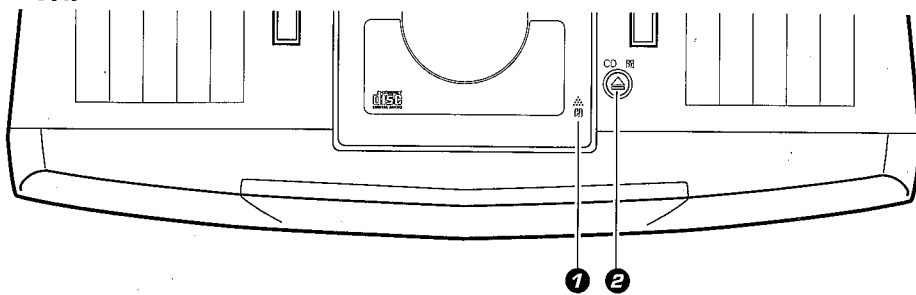
<p>落下した機器は使わない</p> <p>落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> 	<p>ケースを絶対に開けないでください</p> <p>機器の裏面、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。点検、修理は販売店またはケンウッド営業所にご依頼ください。</p> 	<p>電池は放置しない</p> <p>電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込みおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。</p> <p>乾電池は充電しない</p> <p>乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。</p> 
--	---	--

注意

<p>電源コードを熱器具に近付けない</p> <p>電源コードを熱器具（スープ、アイロンなど）に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。</p> 	<p>湿気やほこりのある場所に置かない</p> <p>油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。</p> 	<p>長期間使用しないときは</p> <p>長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p> <p>音量に気をつけて</p> <p>はじめに、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音で、聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p>
<p>不安定な場所には置かない</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。</p> 	<p>温度の高い場所には置かない</p> <p>窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> 	

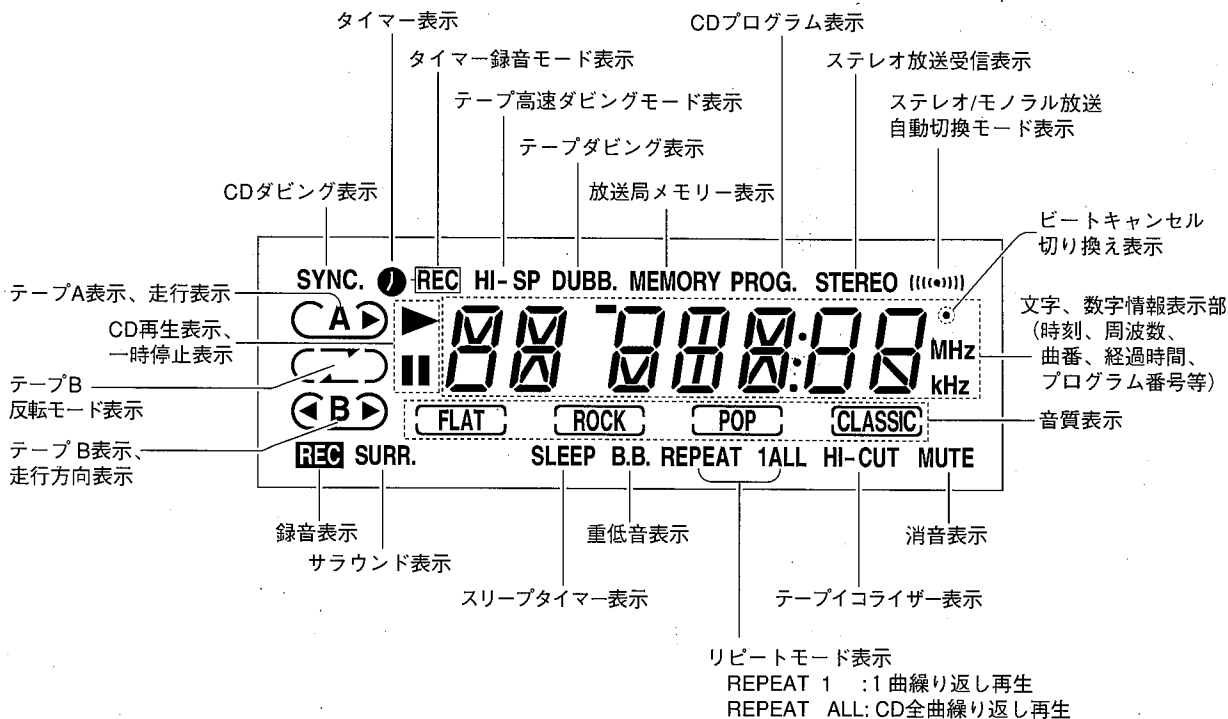
<p>電源プラグの抜き差しは</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグは、根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。</p> <p>指定以外のコードを使わない</p> <p>関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は、指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。</p> <p>指をはさまない</p> <p>お手様がカセットテープ、ディスクの挿入口に、手を入れないよう、ご注意ください。指がはさまれて、けがの原因となることがあります。</p>	<p>電池の取扱い</p> <p>電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。次のことを、必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 極性表示（プラス「+」とマイナス「-」の向き）に注意し、表示通りに入れてください。 ● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。 ● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。 ● 電池や電池ケースは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピン等と一緒に携帯、保管しないでください。 ● 長期間使用しないときや、常時ACアダプターで使用する場合は、電池を取り出しておいてください。 ● 液漏れが発生した場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体に付着した場合は、水でよく洗い流してください。 <p>機器に乗らない</p> <p>この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお手様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。</p>	<p>レーザー光線はのぞかない</p> <p>レーザー光線のをぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。</p> <p>ひび割れたディスクは使わない</p> <p>ひび割れ、変形、または接着剤などで修復したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。</p> <p>移動させる際は</p> <p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。</p> <p>お手入れの際は</p> <p>お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になることがあります。</p> <p>3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。</p>
---	--	---

前面、上面部



- ① CD 蓋
閉めるときは[閉]と印刷されている部分を押しします。
- ② [CD 開]ボタン
CD 蓋を開けるときに押しします。 → 12
- ③ [電源]キー
→ 12
- ④ [MD/外部入力]キー
→ 24
MD または外部入力を再生するときに押しします。
- ⑤ [重低音]キー
→ 24
重低音の増強をします。
- ⑥ [サラウンド]キー
→ 24
音に広がりを加えます。
- ⑦ [スタンバイ]インジケータランプ
スタンバイモードの時、点灯します。
スタンバイモードの時、[電源]キーを押すと電源が入ります。
- ⑧ [テープイコライザー]キー
→ 17
ドルビー録音されたテープなどを再生するときに押しします。
- ⑨ 表示部
- ⑩ リモコン受信部
→ 8
- ⑪ [プログラム/設定]キー
→ 11
[巻戻し/←/◀]キー、[早送り/+/▶▶]キー
→ 13
[停止/プリセット]キー
→ 13
- ⑫ [タイマー]キー
→ 22
タイマー設定に使用します。
- ⑬ [時刻]キー
→ 11
時刻設定に使用します。
- ⑭ [音量]キー
→ 12
[+]キーを押すと音量が上がり、[-]キーを押すと音量が下がります。
- ⑮ 左スピーカー部
- ⑯ テープ A カセット蓋
→ 16
開閉をするときは[押]の部分を押します。
- ⑰ [テープダビング]キー
→ 21
テープからテープへダビングするときに使います。
- ⑱ [録音/一時停止]キー
→ 20
録音、録音一時停止時に使います。
- ⑲ [テープ切換 A/B]キー
→ 17
テープ A、テープ B を切り換えます。
- ⑳ [テープ ◀ ▶]キー
→ 16
テープの再生と、テープ B の走行方向を切り換えます。
- ㉑ [ラジオ FM/AM]キー
→ 18
ラジオを聴くとき、FM、AM の切り換えに使います。
- ㉒ [CD ▶/||]キー
→ 12
CD の再生、一時停止に使います。
- ㉓ [CDダビング/FMモード]キー(ビートキャンセルキー)
→ 21
● CD をテープにダビングするとき、
→ 19
● FM のステレオモードを切り換えるときや
→ 20
● AM 放送録音時、ビート音(雑音の一種)を少なくするときに使います。
- ㉔ [テープ B 反転モード]キー
→ 17
- ㉕ テープ B カセット蓋
→ 16
開閉をするときは[押]の部分を押します。
- ㉖ 右スピーカー部

表示部



リピートモード表示
 REPEAT 1 : 1曲繰り返し再生
 REPEAT ALL: CD全曲繰り返し再生

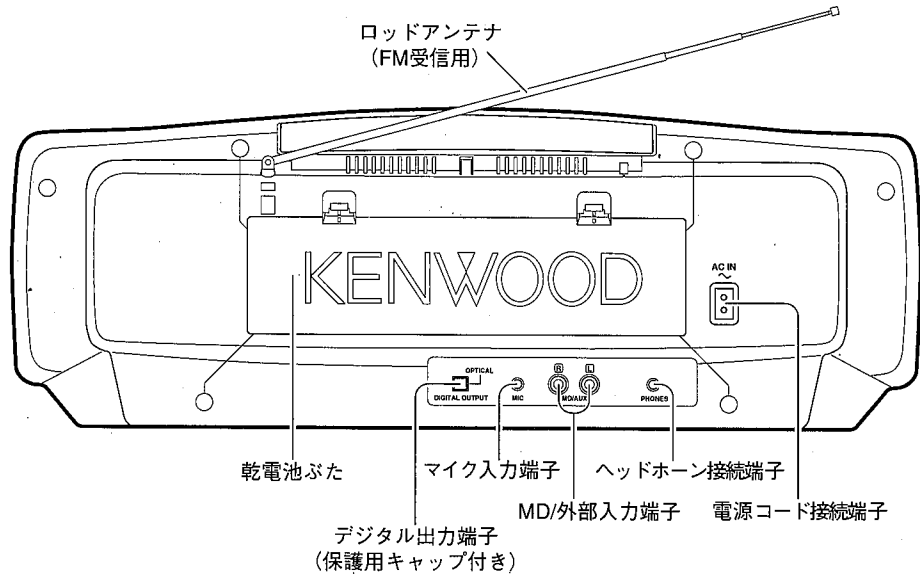


※電源をオンにしたとき、表示部には現在の設定状態が表示されます。
 例) CDが選ばれていて、音量が"VOL 10"に設定され、ディスクが入っていない状態。

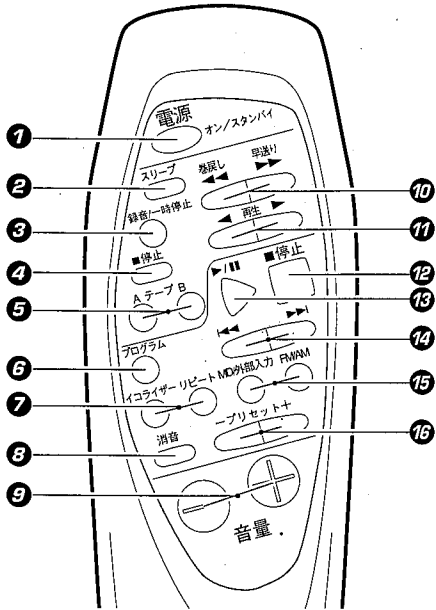
[] → VOL 10 → [] → NO] ISC

●表示が変わっている間の数秒間は操作キーをうけつけません。

背面



各部のなまえ

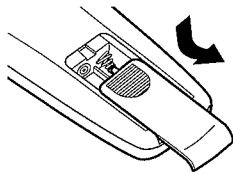


- | | | | |
|--------------------------------------|--------|--|--------|
| ① [電源]キー
オン/スタンバイ | - [12] | ⑨ [音量]キー | - [12] |
| ② [スリープ]キー
スリープ 発展し 早送り | - [23] | ⑩ [巻戻し(◀◀)/早送り(▶▶)]キー | - [16] |
| ③ [録音/一時停止]キー
録音一時停止 再生 | - [20] | ⑪ [再生(◀,▶)]キー | - [16] |
| ④ [■停止]キー
テープを停止させます。 | - [16] | ⑫ [■停止]キー
CDの停止キー | - [12] |
| ⑤ [テープ A、B]キー
テープA、Bを切り換えます。 | - [16] | ⑬ [▶/■]キー
CDの再生/一時停止キー | - [12] |
| ⑥ [プログラム]キー
CDのプログラムに使用します。 | - [14] | ⑭ [◀◀,▶▶]キー
CDの飛び越し選曲や、早送り、早戻しをします。 | - [12] |
| ⑦ [イコライザー]キー
音質を切り換えます。 | - [24] | ⑮ [MD/外部入力]キー
MDや外部入力の再生をします。 | - [24] |
| ⑧ [リセット+]キー
CD繰り返し再生に使用します。 | - [15] | [FM/AM]キー
ラジオを聴くときや、FM、AMを切り換えるときに使用します。 | - [18] |
| ⑨ [消音]キー
スピーカーやヘッドホーン之音を一時的に消します。 | - [24] | ⑯ [プリセット(-,+)]キー
ラジオのプリセットチャンネルの呼び出しに使用します。 | - [18] |

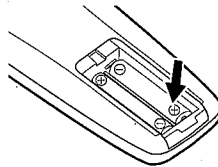
型名：RC-MG3

電池の入れかた

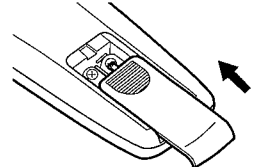
① カバーを開く



② 電池を入れる



③ カバーを閉める



- 単4乾電池 2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

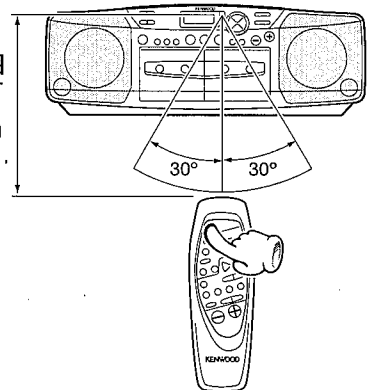
本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源(オン/スタンバイ)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度電源(オン/スタンバイ)キーを押します。

[スタンバイ]インジケータランプのみが点灯するスタンバイ状態になります。家庭用電源で使用している場合は表示部に時計表示がでます。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて押してください。

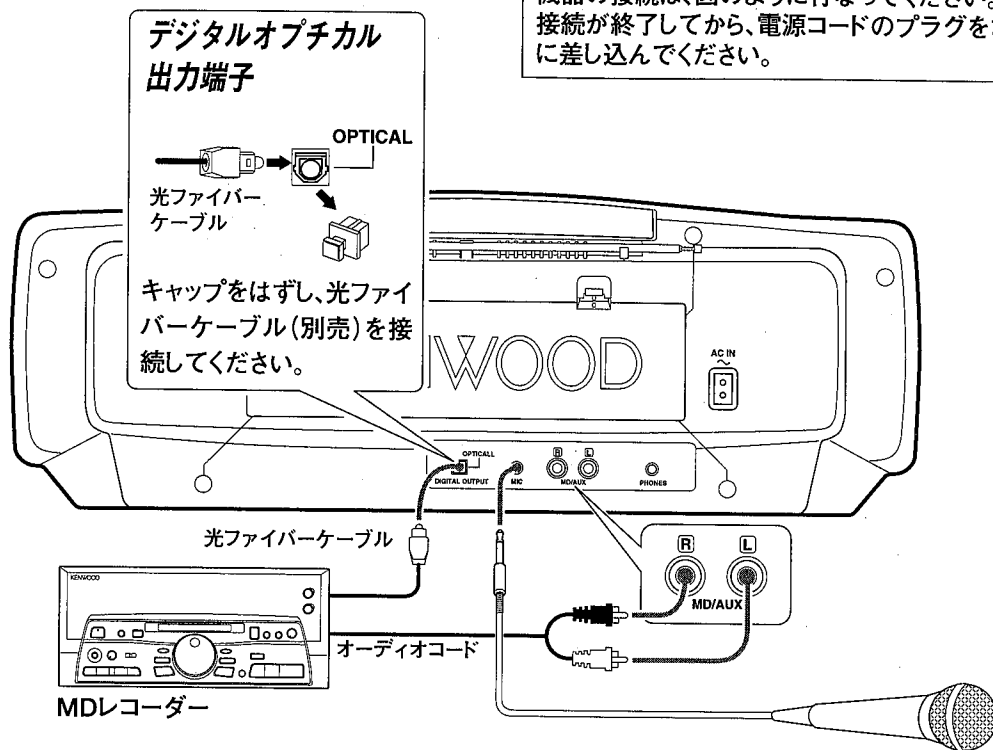
操作範囲
のめやす
約6m



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

注意 接続のご注意

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。



マイクロホン

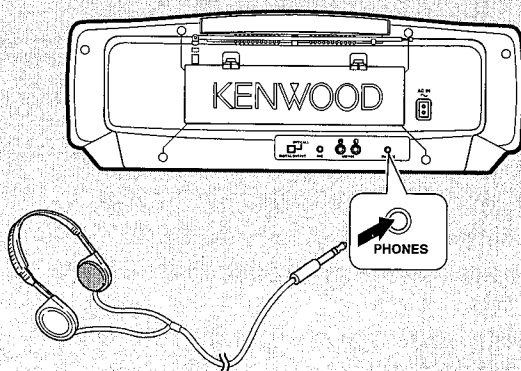
ミニプラグ(3.5mm径)付きのマイクロホンを使用します。
● CD、ラジオ、テープ、MD/外部入力とマイクミキシング録音(再生)ができます。



1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. デジタルオプチカル出力端子は真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
3. 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
4. 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

ヘッドホンで聴くとき

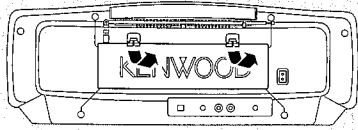
ヘッドホンのプラグを背面の^{ホーンズ}PHONES端子に差し込む



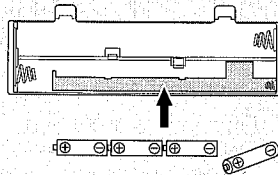
- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

メモリー保護用乾電池の入れかた

① 乾電池ぶたを開く



② 電池を入れる



時計用乾電池は本体の背面の電池ケースの奥に入れます。

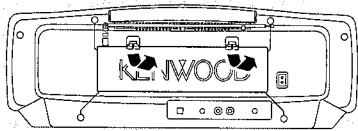
- 単3乾電池 4個を極性マークに従って入れる。

電池で本体を使うときだけでなく、家庭用コンセントで使うときも、時計用乾電池を入れておきましょう。停電したときでも現在時刻や、記憶してある放送局などが保持されます。

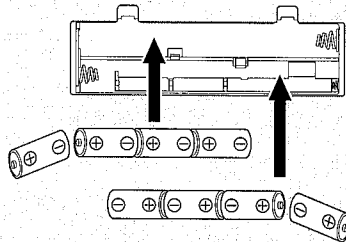
- 電池を交換するときはコンセントに電源コードを差し込んだ状態で交換してください。記憶している内容が保持されます。

乾電池で使うとき

① 乾電池ぶたを開く



② 電池を入れる



③ 乾電池ぶたを閉める

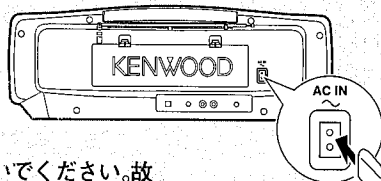
- 単1乾電池 8個を極性マークに従って入れる。

乾電池が消耗してくると

CDの音が飛んだり、テープの音がゆれたりし易くなります。そのようなときは動作用乾電池を8本とも全て新しい乾電池に交換してください。

- 乾電池は付属しておりませんので市販品をお使いください。
- 時計用電池の寿命は、交流電源を接続していない場合、連続で約3ヶ月間です。(常に時計表示させる場合は交流電源で使うことをお勧めします。)

家庭用交流100V電源で使うとき

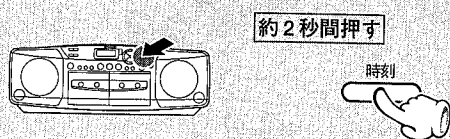


交流100V、50/60Hzの電源コンセントへ

付属電源コード

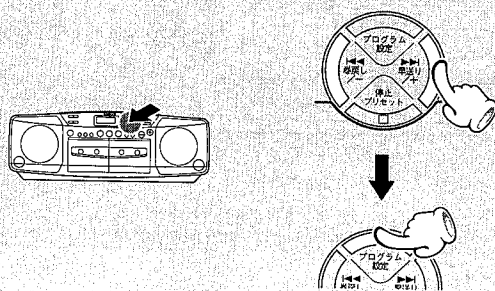
- 付属の電源コード以外は絶対に使わないでください。故障の原因になります。
- 電源コードは、CDやテープが停止状態であることを確認してから抜いてください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

1 時刻合わせモードにする

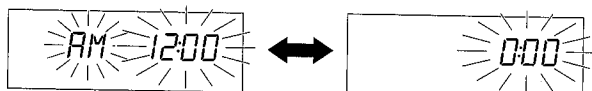


時刻が点滅します

2 12時間表示または24時間表示を選ぶ



- 押すごとに切り換わります



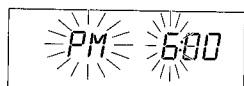
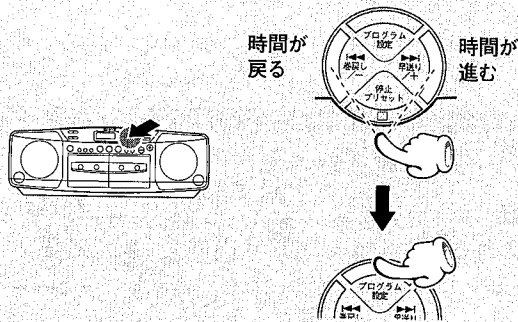
12時間表示

24時間表示

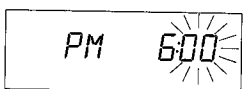
- [プログラム/設定]キーを押すと、時間の設定モードになります。



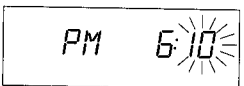
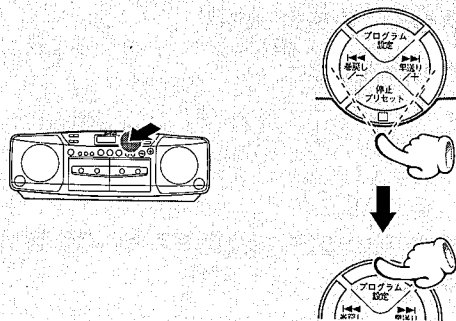
3 時間を合わせる



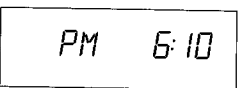
- 時間が合ったら、[プログラム/設定]キーを押します。
- "分"の設定モードになります。



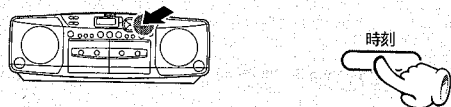
4 分を合わせる



- "分"が合ったら、時報などに合わせて、[プログラム/設定]キーを押します。
- [プログラム/設定]キーを押した時点から、時計がスタートします。

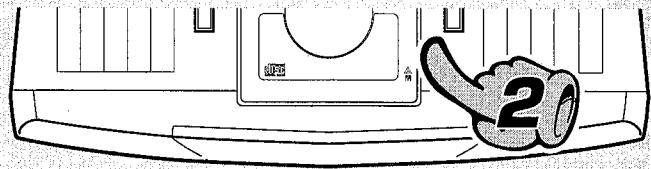
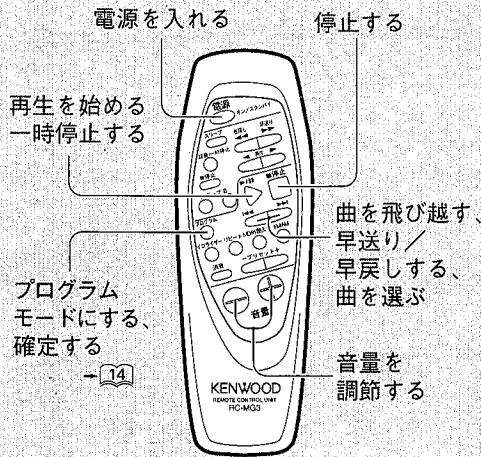


時刻を確認するときは

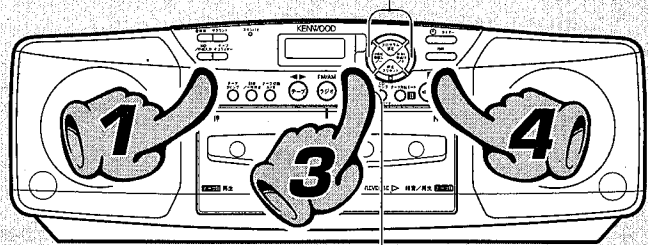


[時刻]キーを押すと約3秒間時刻を表示します。

1曲目から順に聴く



曲を飛び越す、早送り、早戻しする



再生を始める一時停止する

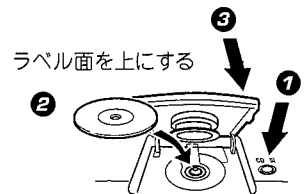
1. 電源をオンにする

電源



2. ディスクを入れる

CD 開



- ① 上蓋を開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ 上蓋を閉める

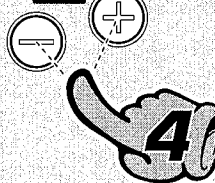
3. 再生をはじめる

- 数秒後に1曲目から再生します。



4. 音量を調節する

音量



曲を飛び越す

戻る 進む

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- リモコンの ◀◀、▶▶ キーでも操作できます。

早送り・早戻しする

押し続ける
早戻し 早送り

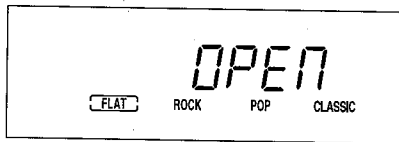
- 手を離したところから再生します。
- リモコンの ◀◀、▶▶ キーでも操作できます。

一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

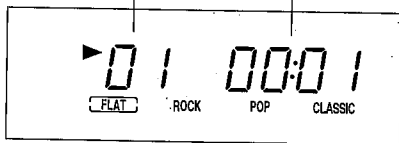
再生を止める

操作編

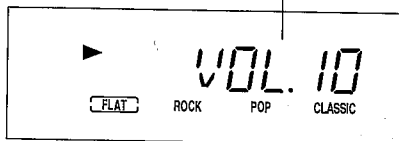


- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。

再生中の曲番
再生中の曲の経過時間



音量レベル



ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどの、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、ディスクが取り出せなかったり、故障する原因となることがあります。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

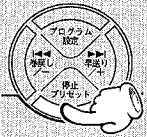
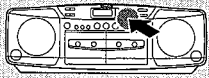
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大20曲)

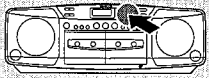
CDに切り換える

1 CDを停止させる

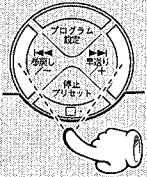


2 聴きたい順に曲を選ぶ

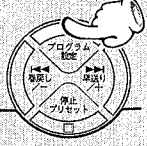
① プログラムモードにする



② 曲を選ぶ



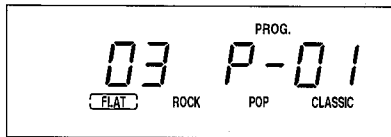
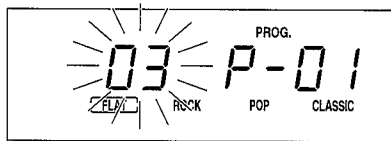
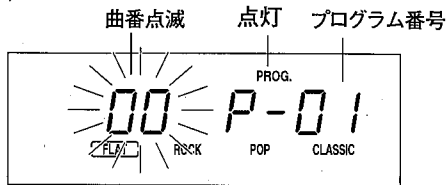
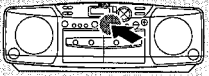
③ 確定する



(2曲以上選ぶときは手順

①、②、③を繰り返す)

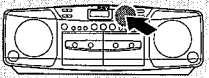
3 再生する



● 20曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。

- 選んだプログラム番号順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- 再生中に ◀◀ キー、または ▶▶ キーを押すと、プログラムされた曲順に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- プログラム番号を選んで(「プログラムした曲を確認するには」参照)再生すると、選んだプログラム番号から再生できます。

再生を停止する



- 表示部の "PROGRAM" 表示が点灯中に [停止/プリセット] キーを押すと、プログラムがすべて消えますので、ご注意ください。

プログラムした曲を確認するには

① 停止状態にする



② [プログラム/設定]キーを押す



[プログラム/設定]キーを押すごとに曲番とプリセット番号が表示されます。

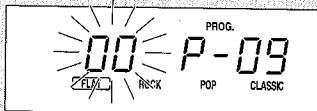
プログラムに曲を追加するには

① プログラムの最後を表示させる

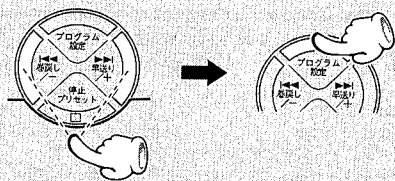


プログラムの確認の操作をして、プログラムの最後を表示させます。

"00"が点滅



③ 新しい曲番を選んで、[プログラム/設定]キーを押す。



プログラムした曲を修正するには

① 停止状態にする

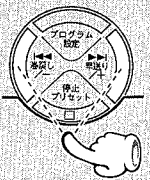


② 修正したいプリセット番号を表示させる



[プログラム/設定]キーを押すごとに曲番とプログラム番号が表示されます。

③ 新しい曲番を選ぶ



④ 確定する



プログラムした曲を取り消すには

① "PROG."表示を点灯させる



点灯
PROG.

または



② [停止/プリセット]キーを押す



必ず停止中に操作してください。

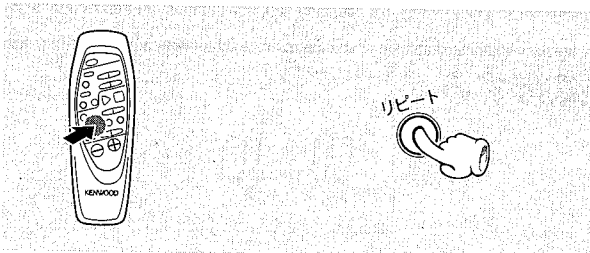
プログラムした曲はすべて取り消されます。

繰り返し聴く (リピート再生)

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

CDの停止中、または再生中に操作します。(リモコンのみ)

繰り返し再生をするには



繰り返し再生をやめるには...

"REPEAT" を消灯させます。

押すたびに切り換わります。

- ① "REPEAT 1" 選んだ曲、1曲を繰り返し再生します。
- ② "REPEAT ALL" .. CDの全曲を繰り返し再生します。
- ③ 消灯 リピート解除

- プログラムをして、"REPEAT ALL"を選ぶと、プログラムした曲を繰り返し再生します。

REPEAT 1

REPEAT ALL

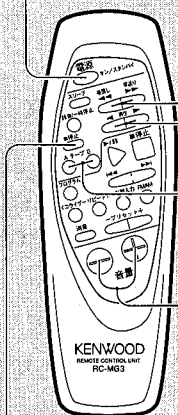
REPEAT ALL

1曲繰り返し再生

全曲繰り返し再生

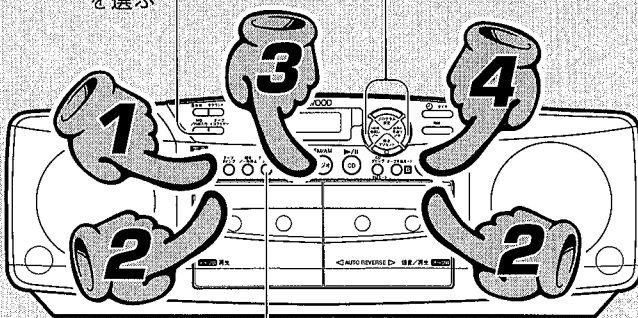
繰り返し再生解除

電源を入れる 早送り、巻戻しする



停止する

再生を始める

テープA、
テープBを
切り換える音量を
調節するテープイコライザー
を選ぶテープA、テープBを
切り換える

電源



1. 電源をオンにする

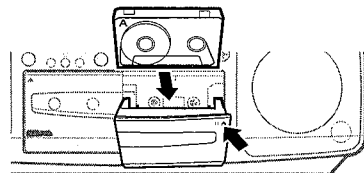
押 ▲



2. テープを入れる

▶ 方向に再生する面を
手前に入れて入れます

- ① テープAまたはテープBの
ドアを開ける
- ② テープを入れる
- ③ ドアを閉める



再生



3. 再生をはじめる

テープBを再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。

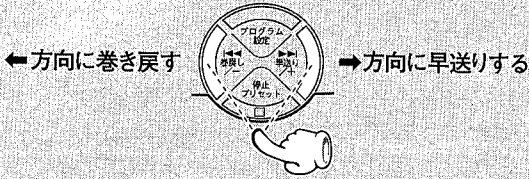
- テープは、たるみのない状態にしてください。
- ドアは確実に閉めてください。

音量



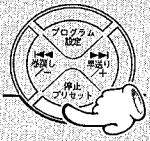
4. 音量を調節する

早送り・巻戻しする



- 早送り、巻戻しを止めるときは、[停止/プリセット]キーを押してください。

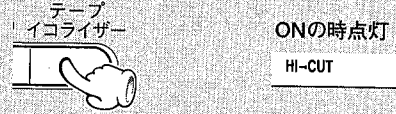
再生を止める



- テープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。

テープイコライザーを選ぶ(本体のみ)

ドルビー録音されたテープなどを聴くときのみに使います。(ドルビー録音などのノイズリダクション録音をしていないテープでは、正常な音で再生されません)

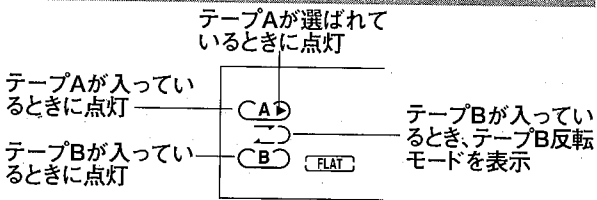
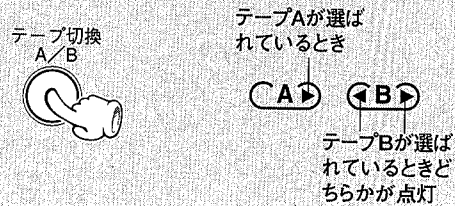


押すたびに切り換わります。

- ① "HI-CUT" 点灯 ... テープイコライザーを使う
- ② "HI-CUT" 消灯 ... テープイコライザーを使わない

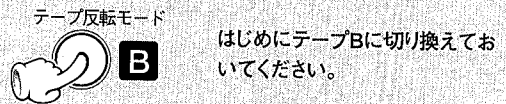
- 高音域のノイズの低減に有効です。

再生するテープデッキを選ぶ



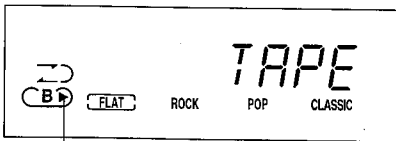
テープ反転モードを選ぶ

(テープBのみ、本体のみ)

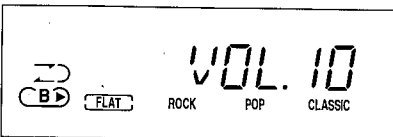


押すたびに切り換わります。

- ① [B] 1方向の再生(録音)が終わると停止します。
- ② [B] ▶方向に再生(録音)を始めた場合、テープの終わりで自動反転し(オートリバース)、◀方向の再生(録音)が終わると停止します。
◀方向に再生(録音)を始めた場合、テープの終わりで再生(録音)が停止します。
- ③ [B] 再生の時: テープの両面を繰り返し6回再生します。
録音の時: [B]を選んだ時と同じ動作になります。



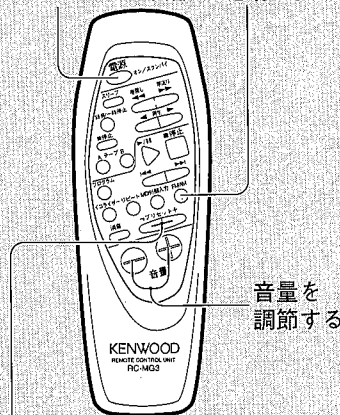
テープBが選ばれているいるとき
走行方向を▶印で表示。走行中は点滅します。



走行方向について

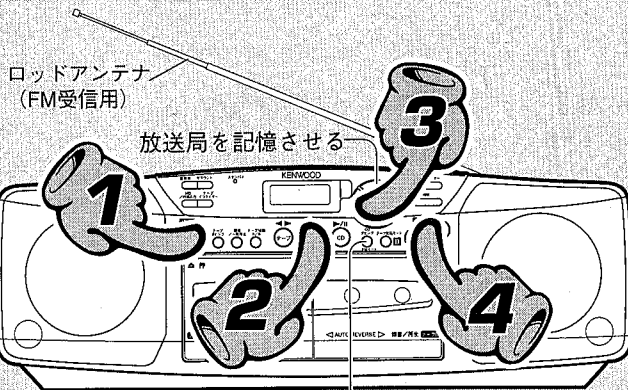
テープBで再生や録音をスタートするとき、テープが進む方向を、インジケータの点滅で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(向きを変えるときは、再生中に、[テープ(◀、▶)]キーを押してから[停止/プリセット]キーを押します。)

放送を聴く
電源を入れる FM/AMを切り換える



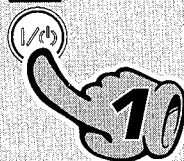
音量を
調節する

プリセットチャンネルを選ぶ



FMステレオ放送自動切り換え
モードを切り換える

電源



1. 電源をオンにする

FM/AM



2. 放送バンドを選ぶ

1回押すとラジオに切り換わります。
押すたびに放送バンドが切り換わります。

- ① FM
- ② AM

● FM放送を聴くときはロッドアンテナを伸ばし一番受信状態のよい方向に回転させます。

周波数が下がる



周波数が上がる

3. 放送局を選ぶ

キーを1回つつ押しと:

周波数が1ステップずつ変化します。放送を受信するまで繰り返し押します。

キーを押し続けると:

次の放送局を自動的に受信します。

放送局を記憶させた場合(プリセットコール)

キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

本体

[停止/プリセット]キーを押すと ... 1 → 2 → 3 29 → 30 → 1 ...

リモコン

[プリセット+]キーを押すと 1 → 2 → 3 29 → 30 → 1

[プリセット-]キーを押すと 30 → 29 → 28..... 2 → 1 → 30.....

音量

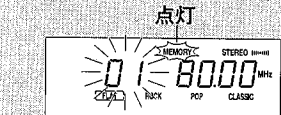
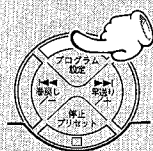


4. 音量を調節する

放送局を記憶させる(プリセット)

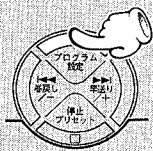
お好みの放送局を選んで1局ずつ記憶させることができます。

- ① 受信中に[プログラム/設定]キーを押す



プログラム番号が点滅します。
1番から順番にプログラムされます。

- ② もう一度、[プログラム/設定]キーを押す



(続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順①、②を繰り返す)

プリセット番号点滅中に、手順②へ

記憶させたいプリセット番号を選ぶには (リモコンのみ)



プリセット番号が点滅している間にリモコンの[プリセット(-/+)]キーを押すとプリセット番号を選ぶことができます。

- FM、AM合わせて最大30局まで放送局を記憶できます。

記憶させた放送局を消去するには

- ① [プログラム/設定]キーを約1~2秒押し続ける



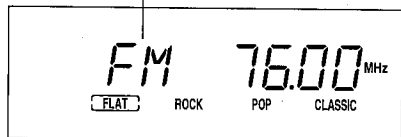
- ② もう一度[プログラム/設定]キーを押す



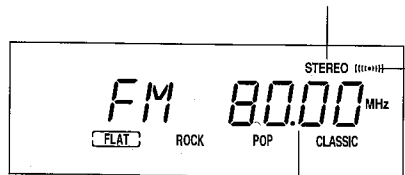
● "CLEAR"表示が点滅中に押します。

- 記憶させたプリセット番号と、周波数がすべて消えます。

放送バンドの表示



ステレオ放送受信時に点灯



ステレオ放送自動切り換えモードの時点灯

周波数の表示

FMステレオ放送自動切り換えモードについて (本体のみ)

電波が弱く、雑音が多いときはモノラル受信にします。(雑音が減り、聴きやすくなります)

- 通常はステレオ自動切り換えモード(|||||)にしておきます。

押すたびに切り換わります。



- ① "|||||" 点灯 (「ステレオ自動切り換えモード」ステレオ放送の時自動的にステレオに切り換わります。)
- ② "|||||" 消灯 (モノラル受信)

テレビ放送(1ch~3ch)の受信について

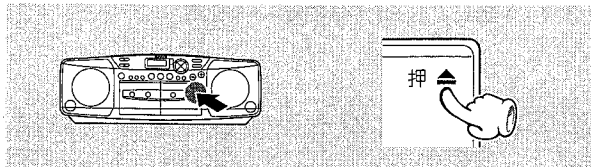
周波数を次のように合わせます。

- 1chのとき.....95.75MHz
- 2chのとき.....101.75MHz
- 3chのとき.....107.75MHz

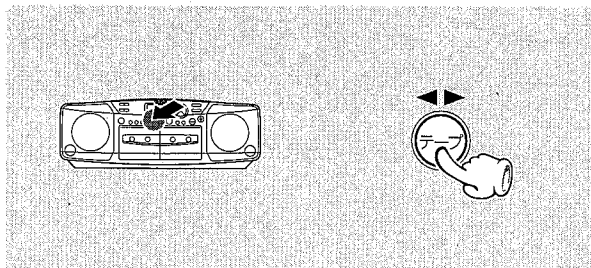
- テレビ放送はモノラル受信になります。



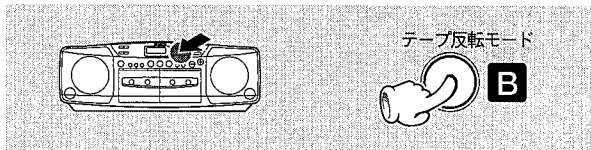
1 録音の準備をする



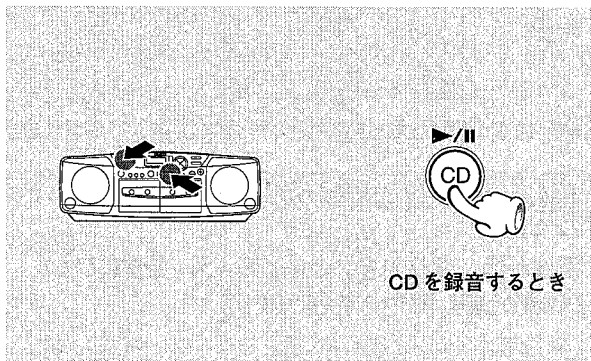
2 テープの進む向きを選ぶ



3 テープ反転モードを選ぶ

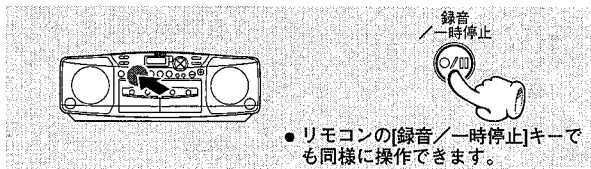


4 何を録音するか選ぶ



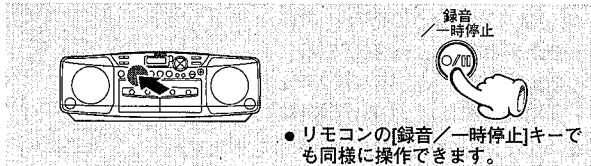
CDを録音するとき

5 録音一時停止にする



● リモコンの[録音/一時停止]キーでも同様に操作できます。

6 録音を始める



● リモコンの[録音/一時停止]キーでも同様に操作できます。

- ① ドアを開ける
- ② テープを入れる
- ③ ドアを閉める

● テープは、たるみのない状態で入れてください。

走行方向を逆にしたい場合

- ① 再生する
- ② もう一度キーを押す
- ③ 停止する

● 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
● テープの頭出し(録音を始める位置をさがすこと)をしておきます。

走行方向表示を確認する - 17

テープ反転モードを選ぶ - 17

● 録音時は、テープイコライザーは使えません。

[ラジオ]
[CD]
[MD/外部入力]
を選びます。

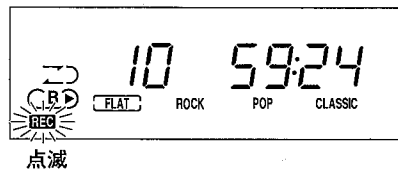
AM放送を録音するとき

AM放送を録音すると、「ピーツ」という発信音が録音されることがあります。

目的の番組を録音する前に、[CDダビング/FMモード]キーを押して、試し録音をしたうえで、発信音のすくない方で録音してください。

● [CDダビング/FMモード]キーを押すごとに切り換わります。

● すでにCDが入っているときは、再生が始まりますので [停止/プリセット] キーを押して止めます。



点滅

- ① 録音したい入力ソースを再生(受信)する
- ② 再度 [録音/一時停止]キーを押して、録音を始める

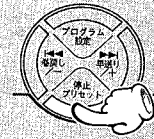
● REC表示が点灯します。
● 録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に停止します。

録音を一時停止する



- 録音中に再度、[録音／一時停止] キーを押すと、一時停止します。(もう一度押すと録音を再開します)

録音を停止する



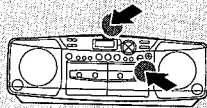
CDのダビングをする

CDの全部を録音するときは、CDダビング機能を使うと便利です。

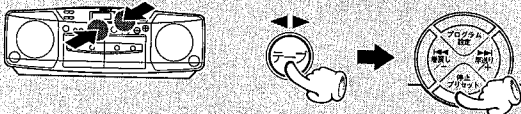
テープのダビングをする

テープを録音するときは、テープダビング機能を使います。

- 録音の準備をする
 - CDを入れる
 - テープBに録音用テープを入れる



- テープBの進む向きを選び、停止状態にする



- テープBの反転モードを選ぶ
テープ反転モード



- CDを選んで、停止状態にする

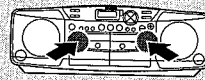


- ダビングを開始する。
[CDダビング/FMモード]キーを押すと、ダビングが、開始されます。

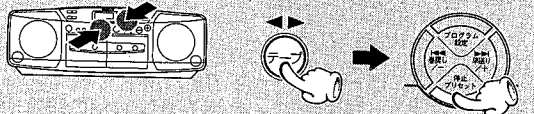


- CDダビングを開始すると、テープは約7秒間の無音部分を作って録音を開始します。
- テープが反転するとき(1往復リバースモードになっているとき)は、約7秒間の無音部分を作って、録音中の曲の最初から、録音し直されます。
- ダビングを中止するときは、[停止/プリセット]キーを押します。

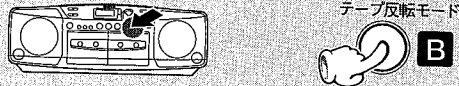
- 録音の準備をする
 - テープAに再生用テープを、テープBに録音用テープを入れる



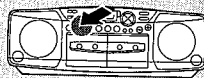
- テープBの進む向きを選び、停止状態にする



- テープBの反転モードを選ぶ
テープ反転モード



- 通常ダビングか、高速ダビングを選ぶ



高速ダビング
モードの時点灯

HI-SP

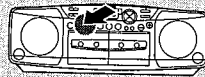
[テープダビング]キーを約1秒以上押し続けるとダビングのモードが切り換わります。

- ① 高速ダビング
- ② 通常ダビング

約1秒以上
押し続ける



- ダビングを開始する。
[テープダビング]キーを押すと、ダビングが、開始されます。



DUBB. 点灯



- 高速ダビングモードの時はマイクミキシング録音はできません。

CDのプログラム録音をする

CDをプログラムして、[CDダビング/FMモード]キーを押すと、プログラムした曲がテープに録音されます。

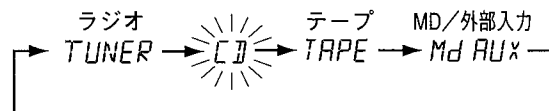
点灯

PROG.

- 上記[CDをダビングする]の①～④の操作をする
- CDをプログラムする - [14]
"PROG."表示を確かめます。出ていないときは、[プログラム/設定]キーを押して表示させます。
- [CDダビング/FMモード]キーを押す

1 タイマー設定モードにする

タイマー動作させる入力ソース(CD、ラジオなど)の表示が点滅しながら徐々に変わります。



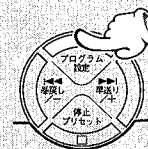
希望の入力ソースが点滅中に [プログラム/設定] キーを押します。



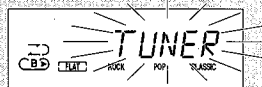
TUNER(ラジオ)またはMd AUX(MD/外部入力)を選んだ場合は、タイマーで、再生するか、録音するかを選びます。



希望のモードが点滅中に [プログラム/設定] キーを押します。オン時刻の設定モードになります。

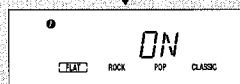


約2秒間押す



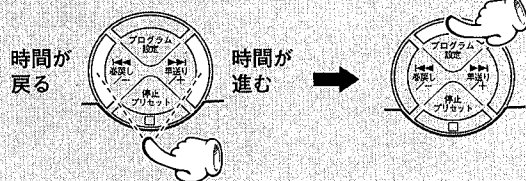
TUNER、Md AUXを選んだ場合

[]、TAPEを選んだ場合オン時刻の設定モードになります

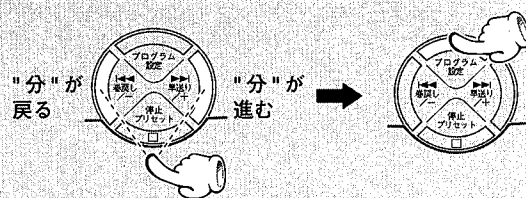


2 オン時刻を設定する

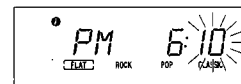
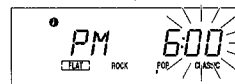
① 時間を合わせる



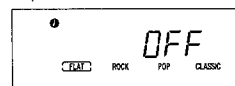
② 分を合わせる



- 時間が合ったら、[プログラム/設定] キーを押します。
- "分"の設定モードになります。



- "分"が合ったら、[プログラム/設定] キーを押します。
- オフ時刻(タイマーで切れる時刻)の設定モードになります。



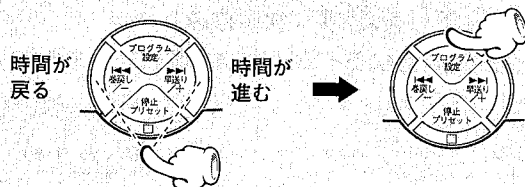
タイマー再生のときは...



- CDのタイマー動作の場合、オン時刻になると自動的に "REPEAT ALL" モードで再生を始め、オフ時刻まで連続して再生状態になります。
- テープBのタイマー動作の場合、オン時刻になると(テープB反転モードに関係なく)自動的に "C2" (連続再生) モードで再生を始め、オフ時刻まで連続して再生状態になります。
- テープA、Bともにカセットテープが入った状態でテープのタイマー動作を行うと、テープBのカセットテープが再生されます。

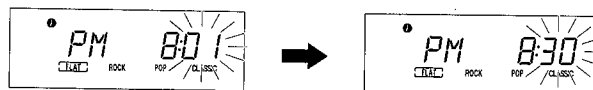
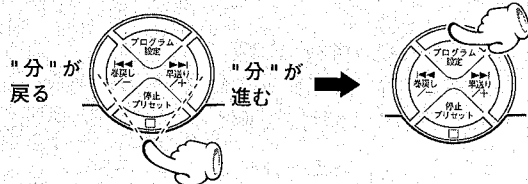
3 オフ時刻を設定する

① 時間を合わせる



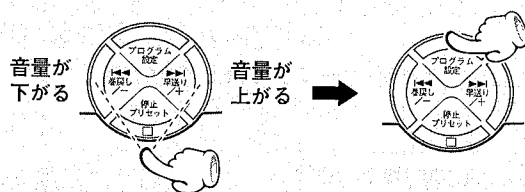
- 時間が合ったら、[プログラム/設定]キーを押します。
- "分"の設定モードになります。

② 分を合わせる

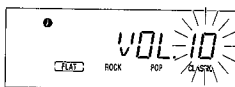


- "分"が合ったら、[プログラム/設定]キーを押します。
- 音量の設定モードになります。

4 音量を設定する



- タイマーで電源が入ったときに、再生される音量を設定します。



- 音量の設定が終わると、設定内容が次々に表示されて、タイマー設定が完了します。

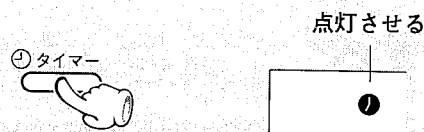
5 電源をオフにする(スタンバイモードにする)

電源



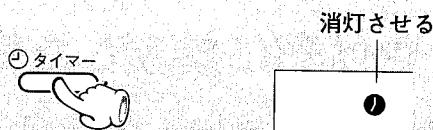
- 設定した時刻になるとタイマーが作動します。

タイマー設定内容を確認するには



- マークがすでに点灯しているときは、キーを2回押して再度点灯させます。
- 設定内容が次々に表示されて、もとの表示に戻ります。
- タイマー動作をさせないときはマークを消灯させておきます。

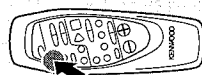
タイマー動作を取り消すには



- [タイマー]キーを押してマークを消灯させます。
- 設定してある内容でタイマー動作させるときは、[タイマー]キーを押してマークを点灯させます。

おやすみタイマー(スリープタイマー) (リモコンのみ)

セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。



- 一回押すと90分にセットされます。押すごとに10分ずつ減っていきます。
- 90 → 80 → 70 20 → 10 → 解除 → 90 → 80

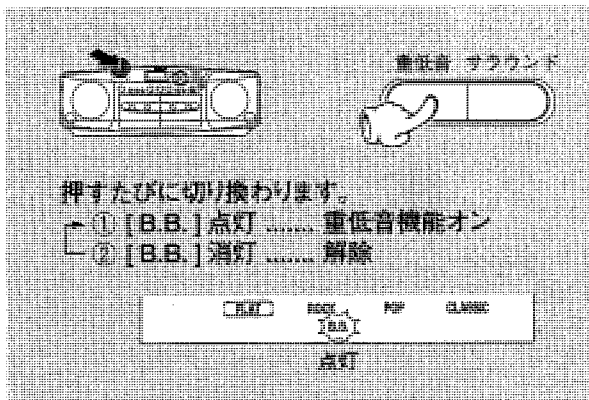
解除するには

電源をオフにする、または[スリープ]キーを解除になるまで押す

音質を調整する

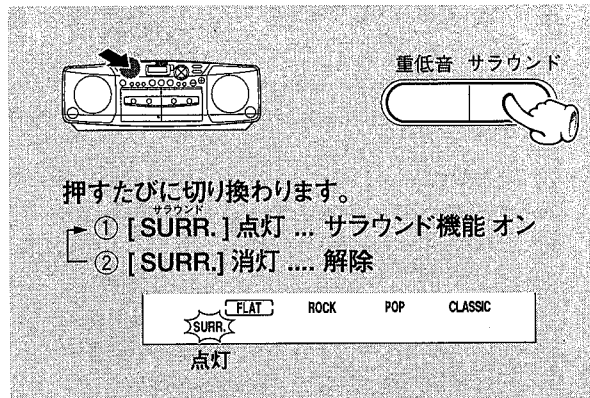
重低音をゆたかにする (本体のみ)

重低音を補強して、迫力のある低音を聴くことができます。



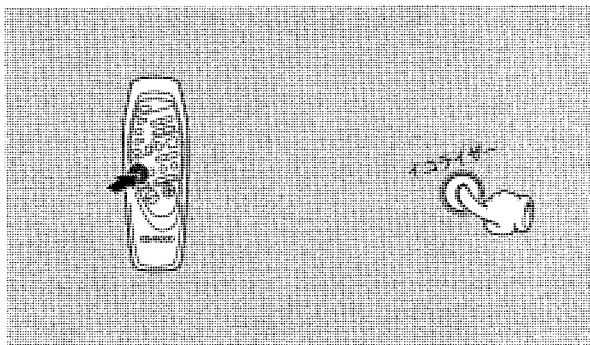
音の広がりを増す (本体のみ)

音の広がりを持たせ、ライブの雰囲気を増すことができます。



音楽ソースに合わせた音質を選ぶ (リモコンのみ)

音楽のジャンルに合わせて、効果的な音のカーブが得られるように、あらかじめイコライザーカーブがセットしてあります。お好みに合わせて、切替えてお楽しみください。



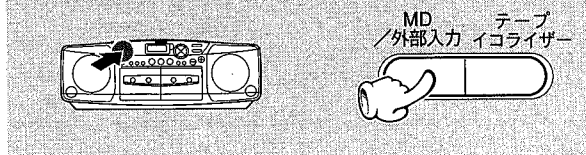
押すたびに切り換わります。

- ① [ROCK] ロックなどに適した音質
- ② [POP] ポピュラーなどに適した音質
- ③ [CLASSIC] クラシックに適した音質
- ④ [FLAT] 解除



MDや外部に接続した機器を再生する

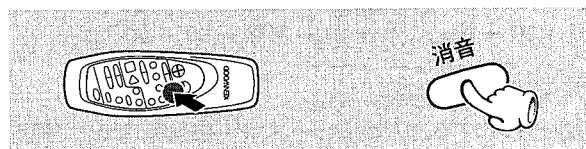
- ① 背面にMDや、外部機器を接続する - 9
- ② [MD/外部入力]キーを押す



背面にマイクロホンを接続するとCD、テープやMD/外部入力などとミキシングしてカラオケなどがたのしめます。

- 高速ダビングモードのときはマイクミキシングできません。
- リモコンの[MD/外部入力]キーでも同様に操作できます。

一時的に音を消すには

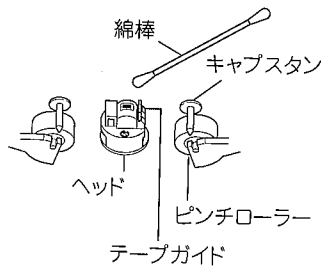


リモコンの[消音]キーを押すと音が消えます。

- もう一度押すともとの音量で音が出るようになります。

メンテナンス

ヘッドのお手入れ




ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

 ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

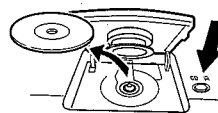
結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、CDをとりかしてから移動してください。



ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

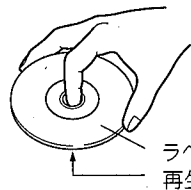


音楽著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

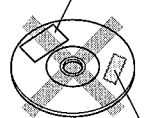
ディスクの取り扱い方

ディスク取扱上のご注意



取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

シール類

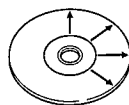


- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

糊のベタつき

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



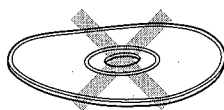
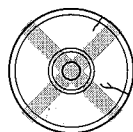
保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

異常なディスクは使用しない



再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

本機で利用できるディスクについて

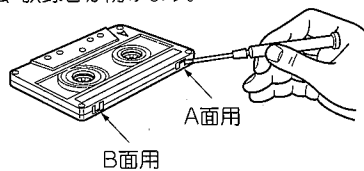
CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

ディスクラベル面にの  マークが入ったものなど IEC規格に合格したものをご使用ください。

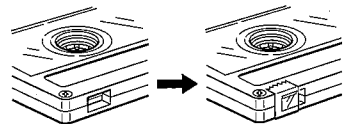
カセットテープについての注意

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音を防げます。



B面用

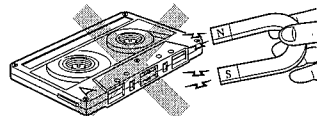


再び録音するには

ツメを折った所だけにテープをはる。

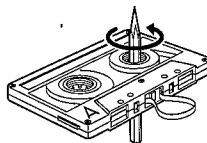
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.110分以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたリトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。



2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

故障かな?と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

PMS-G3(J)

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、単1乾電池、単3乾電池を全て取り出す。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

リモコン部

症状	原因	処置	参照
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●CD、またはカセットテープが入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 ●CD、またはカセットテープを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> - 8 - 8

アンプ部・スピーカー部

症状	原因	処置	参照
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●音量を最小にしている。 ●[消音]がオンになっている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●適当な音量にする。 ●[消音]をオフにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> - 12 - 24 - 9
ヘッドホンから音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドホンの差し込みが不完全。 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しく差し込む。 	<ul style="list-style-type: none"> - 9

チューナー部

症状	原因	処置	参照
時刻表示が、ある時間で止まってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> - 11 - 11
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ●本体の[タイマー]キーで実行を指定する。 	<ul style="list-style-type: none"> - 11 - 22 - 23
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●FM用ロッドアンテナを伸ばしてしていない。(FM) ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを伸ばす。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> - 7 - 18 - 18
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本機を道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 	
プリセットしたあと、[停止/プリセット]キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 	<ul style="list-style-type: none"> - 19 - 19

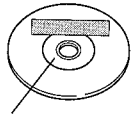
カセットデッキ部

症状	原因	処置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドが汚れている。 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● 未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ● テープを交換してみる。 ● 録音済みテープを使う。 	→ 25
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ● 電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ● テープが入っていない。 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットホルダーを完全に閉める。 ● 4秒以上たってから操作キーを押す。 ● テープを入れる。 ● テープを交換してみる。 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	→ 16 → 16
[▲ 押]のマークを押してもホルダーが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音中、または再生中に押している。 ● 外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止状態で押す。 ● マイコンをリセットしてください。 	→ 17 → 27
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドが汚れている。 ● テープがのびたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ● テープを交換する。 	→ 25
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ● ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● テープを交換する。 	
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドが磁気を帯びている。 ● 外部の雑音を誘導している。 ● ドルビー録音されたテープを、テープイコライザーをオフで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみて消磁する。 ● 電気器具、テレビなどから離す。 ● テープイコライザーをオンにする。 	→ 25 → 17
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ● キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ● テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "ヘッドのお手入れ"をみてヘッドを清掃する。 ● テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 	→ 25
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープのツメが折れている。 ● カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ● 入力切換が、^{テープ}TAPEになっている。 ● テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ● カセットホルダーを完全に閉める。 ● テープからテープへ録音するときにはテープダビング機能を使用する。 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	→ 26 → 21 → 17

CDプレーヤー部

症状	原因	処置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 	<ul style="list-style-type: none"> → 12 → 12 → 26 → 25
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●CD(▶/)キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 	<ul style="list-style-type: none"> → 12 → 12 → 26
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> → 26

レンタルCD,中古CDの取り扱いについて



クランピングエリア

- 図の様なクランピングエリアにシールが貼られている様なディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
- シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のべたつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。

(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

修理をご依頼になるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ()

[アンプ部]

実用最大出力..... 4.5W+4.5W(EIAJ 3.2Ω)
 周波数特性
 AUX..... 20 Hz~20,000 Hz

[チューナー部]

FMチューナー部
 受信周波数範囲..... 76MHz~108MHz
 AMチューナー部
 受信周波数範囲..... 531kHz~1,629kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式..... 非接触光学式読み取り
 (半導体レーザー)
 周波数特性 (EIAJ)..... 20 Hz~20 kHz
 ワウ・フラッター (EIAJ)..... 測定限界以下

[カセットデッキ部]

トラック方式..... 4トラック2チャンネルステレオ
 録音方式..... 交流バイアス
 ヘッド
 再生ヘッド..... 1
 録音/再生ヘッド..... 1
 消去用..... 1

[スピーカー部]

スピーカーユニット..... 100mm コーン型×2

[電源部・その他]

交流電源
 電源電圧・電源周波数..... AC100V, 50Hz/60Hz
 直流電源
 DC12V(単1乾電池×8本)
 DC6V(単3乾電池(メモリー用)×4本)

電池持続時間

使用電池	CD再生時 (EIAJ)	テープ再生時 (EIAJ)	ラジオ再生時 (EIAJ)
マンガン 乾電池	4時間	6時間	7時間
アルカリ 乾電池	20時間	22時間	28時間

定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)..... 32W
 最大外形寸法
 幅..... 535mm
 高さ..... 185mm
 奥行..... 264mm
 質量(重量)..... 4.5kg(乾電池含まず)



これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
 ● 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

ケンウッド全国サービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお申しつけください。

札幌サービスセンター	札幌市東区北34条東14丁目1-23	〒007-0834	電話(011) 743-7740
帯広サービスステーション	帯広市西22条南3-32-6	〒080-2472	電話(0155) 33-0611
旭川サービスステーション	旭川市豊岡五条7-35-1316	〒078-8235	電話(0166) 32-4411
仙台サービスセンター	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	〒984-0042	電話(022) 284-1171
青森サービスステーション	青森市勝田1-19-4	〒030-0821	電話(0177) 35-3431
盛岡サービスステーション	盛岡市厨川4-5-11	〒020-0124	電話(019) 646-2311
郡山サービスステーション	郡山市安積3-257	〒963-0107	電話(024) 945-4721
山形サービスステーション	山形市松波1-15-24	〒990-0023	電話(023) 623-7441
秋田サービスステーション	秋田市千秋矢留町9-14	〒010-0877	電話(018) 836-0131
大宮サービスセンター	大宮市本郷町258-1	〒330-0033	電話(048) 664-3611
高崎サービスステーション	高崎市緑町2-9-1	〒370-0073	電話(027) 362-6211
水戸サービスステーション	水戸市河和田3-2422-1	〒311-4152	電話(029) 253-6711
宇都宮サービスステーション	宇都宮市今泉町1639-3	〒321-0962	電話(028) 638-3161
新潟サービスステーション	新潟市姥ヶ山1-5-37	〒950-0923	電話(025) 287-7736
松本サービスステーション	松本市南松本2-7-30(昭和ビル3F)	〒390-0832	電話(0263) 26-7331
足利サービスステーション	足利市田中町351-1	〒326-0822	電話(0284) 73-2181
東京サービスセンター	目黒区青葉台3-17-9	〒153-0042	電話(03) 3477-5411
立川サービスステーション	立川市曙町1-22-25(アバクス立川1F)	〒190-0012	電話(042) 523-2151
千葉サービスセンター	千葉市美浜区中瀬2-6(WBG マリブイースト17F)	〒261-7117	電話(043) 297-2311
柏サービスステーション	柏市富里1-2-1	〒277-0081	電話(0471) 63-1441
横浜サービスステーション	横浜市神奈川区西神奈川1-5-2(ナイス アーバン東神奈川1F)	〒221-0822	電話(045) 312-4481
神奈川中央サービスセンター	座間市広野台2-5032	〒228-0012	電話(0462) 56-9681
名古屋サービスセンター	名古屋市北区辻本通1-11	〒462-0861	電話(052) 917-2550
四日市サービスステーション	四日市市新正4-15-10	〒510-0064	電話(0593) 52-3133
静岡サービスステーション	静岡市荻谷5-61-1	〒420-0816	電話(054) 262-7611
金沢サービスセンター	金沢市南新保町ト44	〒920-0064	電話(076) 265-5045
岡崎サービスステーション	岡崎市欠町清水田20-25	〒444-0011	電話(0564) 23-2686
大阪サービスセンター	大阪市都島区東野田町1-20-5(大阪京橋第一生命ビル3F)	〒534-0024	電話(06) 6352-1055
京都サービスステーション	京都市伏見区治部町56-1	〒612-8374	電話(075) 603-7750
神戸サービスステーション	神戸市中央区海岸通2-2-3(サンエービルディング東館4F)	〒650-0024	電話(078) 333-1743
広島サービスセンター	広島市西区横川新町14-12(第三山本ビル)	〒733-0013	電話(082) 293-0310
徳山サービスステーション	徳山市岡田町212	〒745-0066	電話(0834) 31-1311
岡山サービスステーション	岡山市西市308-6	〒700-0953	電話(086) 241-8037
高松サービスセンター	高松市松島町3-1	〒760-0068	電話(087) 835-2413
松山サービスステーション	松山市山越4-11-2	〒791-8013	電話(089) 925-5760
福岡サービスセンター	福岡市南区向野2-8-18	〒815-0035	電話(092) 551-9755
北九州サービスステーション	北九州市小倉北区熊本1-12-25	〒802-0044	電話(093) 921-2771
熊本サービスステーション	熊本市健軍本町29-3	〒862-0910	電話(096) 368-4161
大分サービスステーション	大分市萩原2-9-18	〒870-0921	電話(097) 553-3207
宮崎サービスステーション	宮崎市旭1-6-30(サニービル2F)	〒880-0803	電話(0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	鹿児島市下荒田2-20-1	〒890-0056	電話(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	宜野湾市宇地泊89	〒901-2227	電話(098) 898-2255

(上記サービスセンターの名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)
(これは、1999. 2. 1日現在のものです。)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室(東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9(ケンウッド青葉台第二ビル)
(大阪) 電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、上記「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。